

# 2025年2月期 決算説明会資料

2025年4月8日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE  
IS  
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE  
IS  
POWER.



## 目次

<b>財務報告</b> .....	2
2025年2月期 決算概況 .....	3
2026年2月期 業績見通し .....	15
<b>経営ビジョン</b> .....	17
<b>トピックス</b> .....	20
<b>株主様への対応</b> .....	29
<b>ESGへの取組み</b> .....	32

SMILE  
IS  
POWER.

# 財務報告

2025年2月期 決算概況  
2026年2月期 業績見通し



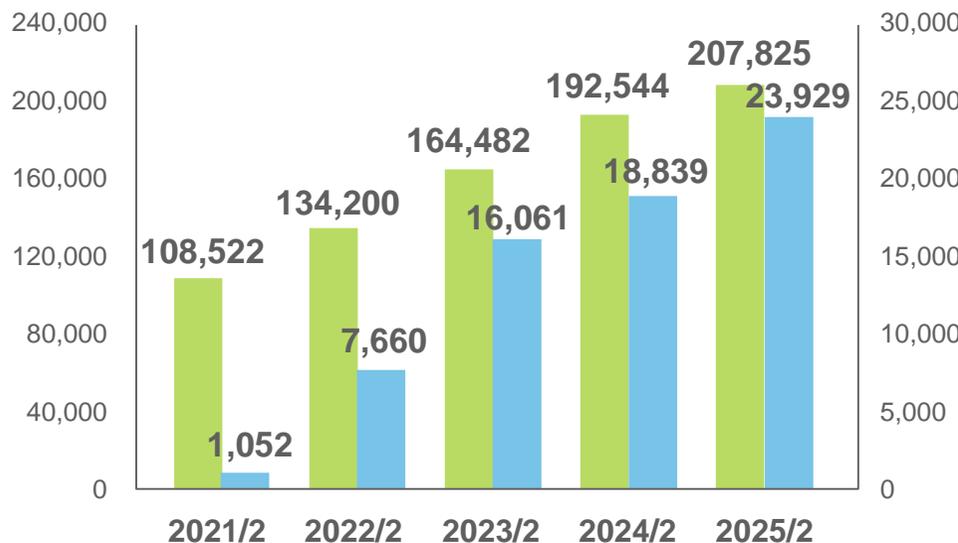
## 前期を振り返って

前期に於きましては、サーバートラブルによる仕入れ抑制の影響があったものの、雑貨事業において、「3コインズ」事業が、引き続き成長を続け、衣料事業においては、タウン系(ドレスアップ系)のブランドが売上を牽引し、ノーリーズの連結子会社化も寄与して、売上高は4期連続で過去最高売上を更新いたしました。利益面では、雑貨事業において、店舗人員シフトの効率化や300円超の商品開発の強化に注力した施策が早期に効果を発揮したことから、上期大幅増益となり、中間決算発表時に業績予想を上方修正いたしました。衣料事業においてもプロパー販売率の上昇や、EC売上の伸びにより、粗利益率・販管費率が改善し、営業利益・経常利益ともに3期連続で過去最高益を更新いたしました。なお、当社創業者の取締役退任に伴い、特別功労金の贈呈を公表し、引当金計上による特別損失を3,158百万円計上した結果、当期純利益は、2024年2月期対比減益となりました。

## 連結

■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル ■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



# 2025年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期			
			公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	164,482	192,544	209,220	207,825	107.9%	99.3%
売上総利益	90,221	106,283	116,330	116,256	109.4%	99.9%
(売上比)	54.9%	55.2%	55.6%	55.9%	0.7%	0.3%
営業利益	15,822	18,605	22,960	23,656	127.1%	103.0%
(売上比)	9.6%	9.7%	11.0%	11.4%	1.7%	0.4%
経常利益	16,061	18,839	23,260	23,929	127.0%	102.9%
(売上比)	9.8%	9.8%	11.1%	11.5%	1.7%	0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,955	12,845	14,820	11,848	92.2%	79.9%
(売上比)	6.1%	6.7%	7.1%	5.7%	▲1.0%	▲1.4%

- 売上高は、新規出店・M&Aによる店舗数の増加を主因として、過去最高の売上高を更新いたしました。付加価値に見合う価格設定やプロパー販売比率の上昇を追求した結果、売上総利益率は前年比0.7ポイント改善し、営業利益・経常利益ともに過去最高益を更新いたしました。
- 当期純利益は、創業者退任に伴う特別功労金を、3,158百万円特別損失として引当計上した結果、2024年2月期対比減益となりましたが、2026年2月期ではこの特別損失は無くなります。

単位:百万円

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期			
			公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	145,816	172,051	180,300	182,632	106.1%	101.3%
売上総利益	80,383	95,038	98,470	102,609	108.0%	104.2%
(売上比)	55.1%	55.2%	54.6%	56.2%	1.0%	1.6%
営業利益	14,529	16,728	17,300	21,284	127.2%	123.0%
(売上比)	10.0%	10.4%	9.6%	11.7%	1.3%	2.1%
経常利益	14,600	16,696	17,110	21,309	127.6%	124.5%
(売上比)	10.0%	10.3%	9.5%	11.7%	1.4%	2.2%
当期純利益	9,316	11,826	10,640	11,630	98.3%	109.3%
(売上比)	6.4%	6.9%	5.9%	6.4%	▲0.5%	0.5%

- 衣料事業では、アフターコロナで売上を急増させたカジュアル系のブランドが苦戦した一方で、タウン系(ドレスアップ系)のブランドの売上、利益は非常に好調でした。サーバートラブルの影響で、仕入を抑制したことに加え、1月・2月の大雪や寒波の襲来で春物が動かず、下期の売上高は伸び悩みました。
- 「3コインズ事業」は、課題となっていたパート・アルバイトの人件費への対応として、店舗人員シフトの大胆な変更が功を奏し、販管費率を低下させることができました。300円超の商品開発の強化と価値に見合った価格への改定により、粗利率も改善し、円安が一巡したこともあって雑貨事業の営業利益率は大幅に改善しました。

単位:百万円

	2023年2月期 実績	2024年2月期 実績	2025年2月期 実績	前年比
売上高	15,460	16,638	16,991	102.1%
営業利益	742	1,422	1,596	112.2%
経常利益	756	1,427	1,598	112.0%
当期純利益	497	1,040	1,012	97.3%

- 2025年2月期も売上高、経常利益ともに増収増益、過去最高額を更新することができました。苦戦していた基幹ブランド「one after another NICECLAUP」も復調傾向にあります。
- EC売上高は70億円を超え、EC売上高比率も目標としてきた40%を超えて、順調に伸びています。強化しているSNS個人フォロワー数も、目標の220万フォロワー（前年比プラス70万）を達成しました。
- サステイナブルへの取り組みに関しましては、2025年2月期に、自社内にサステイナブル委員会を立ち上げ、全社員への落とし込み、当社にできる活動からスタートしています。詳細はホームページ（<https://www.niceclaup.co.jp/sustainability/>）をご覧ください。
- 2025年3月1日付で、パルグループで100%の株式を保有していたグループ子会社のマグスタイル社を吸収合併しました。雑貨ブランドを当社に取り込み、ライフスタイル提案のアイテムを増やし、店舗の大型化と経営基盤の強化、さらなる売上規模拡大を目指します。

# セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

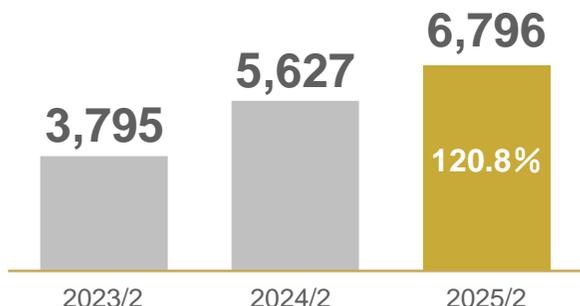
		2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	前年比
衣料	売上高	105,781	119,767	127,795	106.7%
	構成比	64.3%	62.2%	61.5%	▲0.7%
	営業利益	12,516	16,609	18,161	109.3%
	営業利益率	11.8%	13.9%	14.2%	0.3%
雑貨	売上高	58,559	72,577	79,680	109.8%
	構成比	35.6%	37.7%	38.3%	0.6%
	営業利益	3,285	1,978	5,537	279.8%
	営業利益率	5.6%	2.7%	6.9%	4.2%
その他	売上高	141	198	348	175.5%
		2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	前年比
EC売上高	ZOZO TOWN	20,789	24,715	25,613	103.6%
	自社PALCLOSET	15,373	19,277	22,409	116.2%
	その他	3,421	4,405	5,177	117.5%
	合計	39,583	48,397	53,199	109.9%
	対衣料売上高比率	37.4%	40.4%	41.6%	1.2P

- サーバートラブルというマイナス要因はありましたが、衣料・雑貨ともに売上を伸ばし、粗利益率の向上により営業利益率も改善しました。EC売上も自社サイトのPALCLOSETを中心に伸び、4Qからはノーリーズが連結され、さらに上向きになっています。なお、前期末時点でのアプリ会員数は1,145万人に増加し、SNSのフォロワー数は2,000万人の大台を超えています。

# 主なブランド

## 売上高

単位:百万円



2023/2

2024/2

2025/2

## BEARDSLEY

心地よいフォルムや素材へのこだわり。  
刺繍やオリジナルプリントで  
遊び心を加えたハンドワーク感のあるもの。  
唯一無二な世界観。  
イメージを象徴するワードから発想する、  
物作りのシーズンテーマ。  
一つ一つの物語を読み進めるように  
コレクションを展開しています。

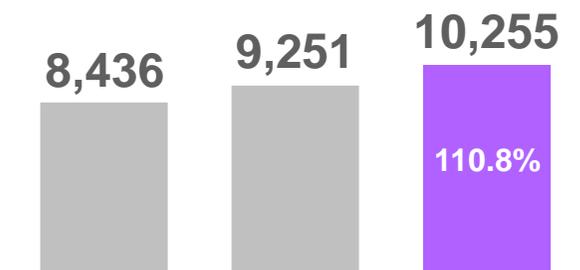
## ビアズリー

店舗数 17店舗



## 売上高

単位:百万円



2023/2

2024/2

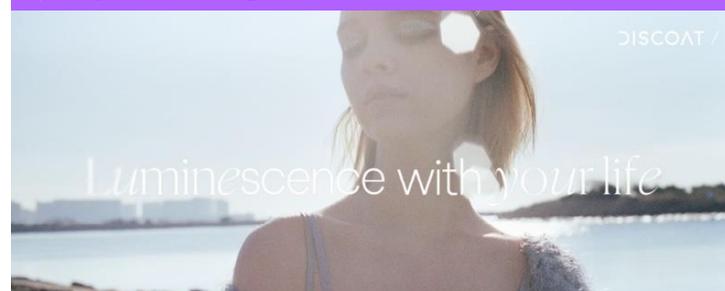
2025/2

## DISCOAT /

with your life  
ライフスタイルを豊かにしてくれるモノ・コト  
『フレンチカジュアル×ヴィンテージ』をベースに  
トレンドを自分らしく楽しめるファッションと  
日常をアップデートしてくれる  
ライフスタイルアイテムを提案します。

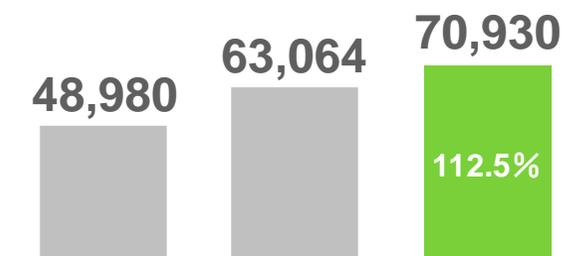
## ディスコート

店舗数 41店舗



## 売上高

単位:百万円



2023/2

2024/2

2025/2

## 3COINS

ベーシックな生活雑貨から、  
空間を彩るインテリア雑貨など幅広いラインナップと、  
つい手に取りたくなるデザイン性のある商品たち…  
いつ行っても新しい発見がある「3COINS」は、  
あなたの“ちょっと幸せ”をお手伝いする雑貨店です。  
生活雑貨・インテリア雑貨・服飾雑貨・モバイルアイテム・  
キッズアイテムなど、様々なアイテムを300円を中心に、  
幅広く取り揃えています。

## 3コインズ

店舗数 344店舗



# 販売費及び一般管理費

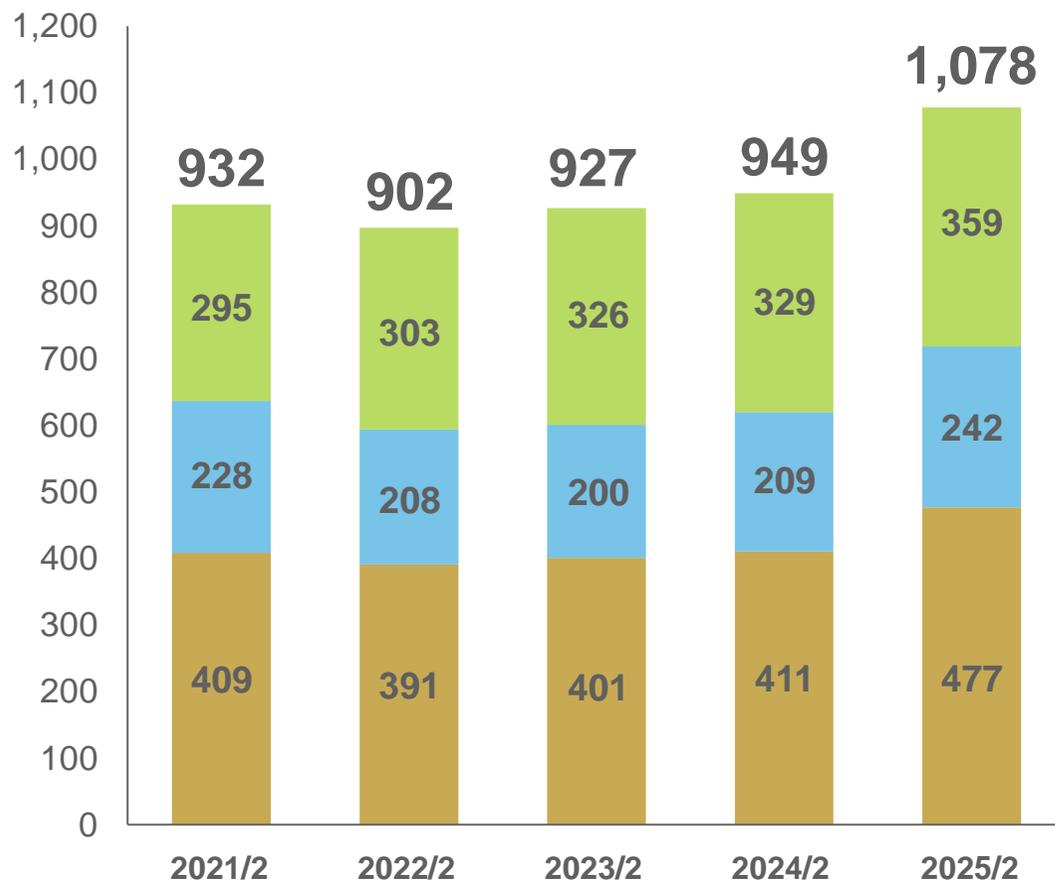
単位:百万円

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	前年比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	65,853	78,310	81,336	103.9%
連結	74,399	87,677	92,599	105.6%
販管費比率(連結ベース)	45.2%	45.5%	44.6%	▲0.9P
人件費比率	16.4%	17.0%	16.1%	▲0.9P
賃料比率	12.0%	11.4%	11.3%	▲0.1P
広告宣伝費比率	0.9%	0.9%	0.9%	0.0P

- 販管費率は、人件費比率の低下を主因に0.9ポイント低下しました。人件費においては、2024年2月期の退職慰労金引当が一時的要因であったこと、雑貨部門でシフトの効率化がパート・アルバイト経費を大きく減少させたことを主因に、3期連続のベースアップを吸収し、0.9ポイント低下しました。賃料は、引き続き3COINS+plusが牽引する形で出店コストの抑制ができています。広告宣伝費は、売上の伸び率と同じ水準に管理ができています。

## 期末店舗数1,078店舗 (前期末比129店舗増)

■ その他地方  
■ 関西圏  
■ 関東圏



### ● 出店状況

今期の新規出店は89店舗で、退店は34店舗となり、純増で55店舗となりました。他に、事業譲受により、レイ・カズン3店舗、w closet 18店舗、NOLLE Y'S 53店舗が新たに加わっております。M & Aの新店を合わせると純増は129店舗となりました。

衣料事業では、46店舗の新規出店を実施、25店舗を閉店した結果、21店舗の純増となりました。

雑貨事業では、3COINS + plusで35店舗3COINS他で8店舗の新規出店を実施、Salut ! 等で9店舗閉店した結果、純増34店舗となりました。

# 特別損益

単位:百万円

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
補助金収入	—	—	220
負ののれん発生益			235
特別利益合計	—	—	455
固定資産圧縮損	—	—	220
特別功労金	—	—	3,158
減損損失	801	480	551
固定資産除却損	30	120	91
段階取得差損	—	—	196
特別損失合計	831	600	4,218

- 補助金収入と固定資産圧縮損は、「KITO」開業に伴う補助金相殺のための会計処理です。
- 特別功労金は、創業者の役員退任に伴うもので、株主総会での承認を条件に支払う金額3,158百万円を当期に引当計上しております。
- 負ののれん発生益と、段階取得差損は、ノーリーズの連結化に伴うものです。

# 連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	前期末比増減	備考
<b>流動資産</b>	85,496	96,692	114,287	17,595	
現金及び預金	63,845	67,228	85,715	18,487	ノーズ+6,090百万円
売掛金	8,554	10,374	10,472	100	
たな卸資産	12,542	16,523	16,743	221	
その他	554	2,565	1,358	▲ 1,207	
<b>固定資産</b>	27,014	30,230	33,642	3,412	
有形固定資産	9,120	10,905	12,965	2,059	
無形固定資産	333	393	816	422	
投資その他の資産	17,561	18,931	19,861	929	
<b>資産合計</b>	112,510	126,922	147,929	21,007	
<b>流動負債</b>	43,237	45,023	50,586	5,562	
<b>固定負債</b>	14,082	18,453	23,989	5,535	
<b>負債合計</b>	57,319	63,477	74,576	11,098	
<b>純資産合計</b>	55,191	63,444	73,353	9,908	自己資本比率 47.9%
<b>負債純資産合計</b>	112,510	126,922	147,929	21,007	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,029	13,460	22,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,599	▲4,404	792
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,835	▲5,672	▲4,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	20
現金及び現金同等物の増加(減少)額	11,595	3,383	18,487
現金及び現金同等物の期首残高	52,250	63,845	67,228
現金及び現金同等物の期末残高	63,845	67,228	85,715

- 売上高が大きく伸長する中、営業キャッシュ・フローは引き続き順調に増加しております。
  - 特殊要因として、営業キャッシュ・フローに役員退職慰労引当金増2,950百万円が、投資キャッシュ・フローに、ノーリーズの連結子会社化に伴う子会社株式の取得による収入として5,124百万円が、それぞれ計上されております。
- 以上の結果、期末の現金同等物の増加額は18,487百万円となりました。

前提条件	2024年2月29日	2025年2月28日	
マーケットリスクプレミアム	6.00%	6.00%	一般的なリスクプレミアムを仮置き
リスクフリーレート	0.741%	1.391%	10年国債利回り
ベータ(β)	0.814	0.561	対TOPIX 5年週次
期末株価(円)	2,271	3,090	
時価総額(百万円)	197,177	268,286	
ROE	21.7%	17.6%	
算定結果	2024年2月29日	2025年2月28日	
資本コスト	5.62%	4.76%	
WACC	5.32%	4.57%	

(計算式) 資本コスト = リスクフリーレート + マーケットリスクプレミアム × β

- 資本コストの2年平均 = 5.2% < 当社のROE2年平均 = 19.7%となっており、当社は、資本コストを大幅に上回る利益を生み出しております。
- 今後も、取締役会への定期的な報告事項として、資本コストを意識した効率経営を目指してまいります。

# 2026年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体+(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

## 1. 連結

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年上期	2026年下期	2026年2月期	前年比
売上高	164,482	192,544	207,825	113,500	117,500	231,000	111.2%
売上総利益	90,221	106,283	116,256	63,700	66,100	129,800	111.7%
販売管理費	74,399	87,677	92,599	51,000	52,400	103,400	111.7%
営業利益	15,822	18,605	23,656	12,700	13,700	26,400	111.6%
経常利益	16,061	18,839	23,929	12,700	13,700	26,400	110.3%
特別損益	▲831	▲600	▲3,763	▲300	▲400	▲700	18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,955	12,845	11,848	8,130	8,720	16,850	142.2%
粗利率	54.9%	55.2%	55.9%	56.1%	56.3%	56.2%	0.3P

## 2. (株)パルグループホールディングス単体+(株)パル

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	前年比
売上高	145,816	172,051	182,632	195,000	106.8%
売上総利益	80,383	95,038	102,609	110,200	107.4%
販売管理費	65,853	78,310	81,325	87,000	107.0%
営業利益	14,529	16,728	21,284	23,200	109.0%
経常利益	14,600	16,696	21,309	23,200	108.9%
特別損益	▲826	▲464	▲3,530	▲500	14.2%
当期純利益	9,316	11,826	11,630	14,900	128.1%
粗利率	55.1%	55.2%	56.2%	56.5%	0.3P

- ノーリーズ他のM&Aによる売上・利益の押し上げ効果、前年のサーバートラブルに起因する売上減の反動増、為替相場の落ち着きや、販管費抑制効果の継続により、増収増益を見込んでいます。

# 2026年2月期 業績見通しの前提

## 1. 店舗数の状況

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期 (現時点の確定数)
新規店舗数	92	80	163	89
退店店舗数	67	58	34	12
店舗数純増	25	22	129	77
期末店舗数	927	949	1,078	1,155

## 2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期 上期累計実績	2025年2月期 下期累計実績	2025年2月期 通期実績	2026年2月期 通期見通し
既存店売上推移	120.0	111.1	102.4	98.8	100.4	105.0
うち小売既存店売上高	116.5	106.6	100.0	96.2	97.6	100.5
うちネット通販既存店売上高	128.8	124.6	108.5	103.4	105.8	113.2

	2023年 3月	2024年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月
既存店売上推移	110.9	103.5	107.0	101.5	100.7	95.0	104.6	101.4	97.9	101.6	101.4	95.1	95.4
うち小売既存店売上高	108.5	98.1	104.7	97.5	98.4	92.0	102.9	99.2	93.2	99.8	99.7	94.1	91.0
うちネット通販既存店売上高	114.2	117.6	111.4	110.7	104.8	101.1	108.3	105.6	106.8	104.5	108.0	95.6	99.5

## 3. 全店売上の状況

	2023年 3月	2024年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	通期
全店売上	118.4	111.8	114.5	107.9	106.8	99.2	112.2	107.5	107.6	106.3	116.4	109.9	103.1	107.9
うちEC	111.6	121.1	112.9	112.5	106.2	102.7	109.7	108.1	109.3	106.6	114.3	108.3	109.7	109.9

## 4. 客数、客単価の推移

	客単価前年比	客数前年比
衣料事業	112.5%	88.6%
雑貨事業	107.3%	104.6%

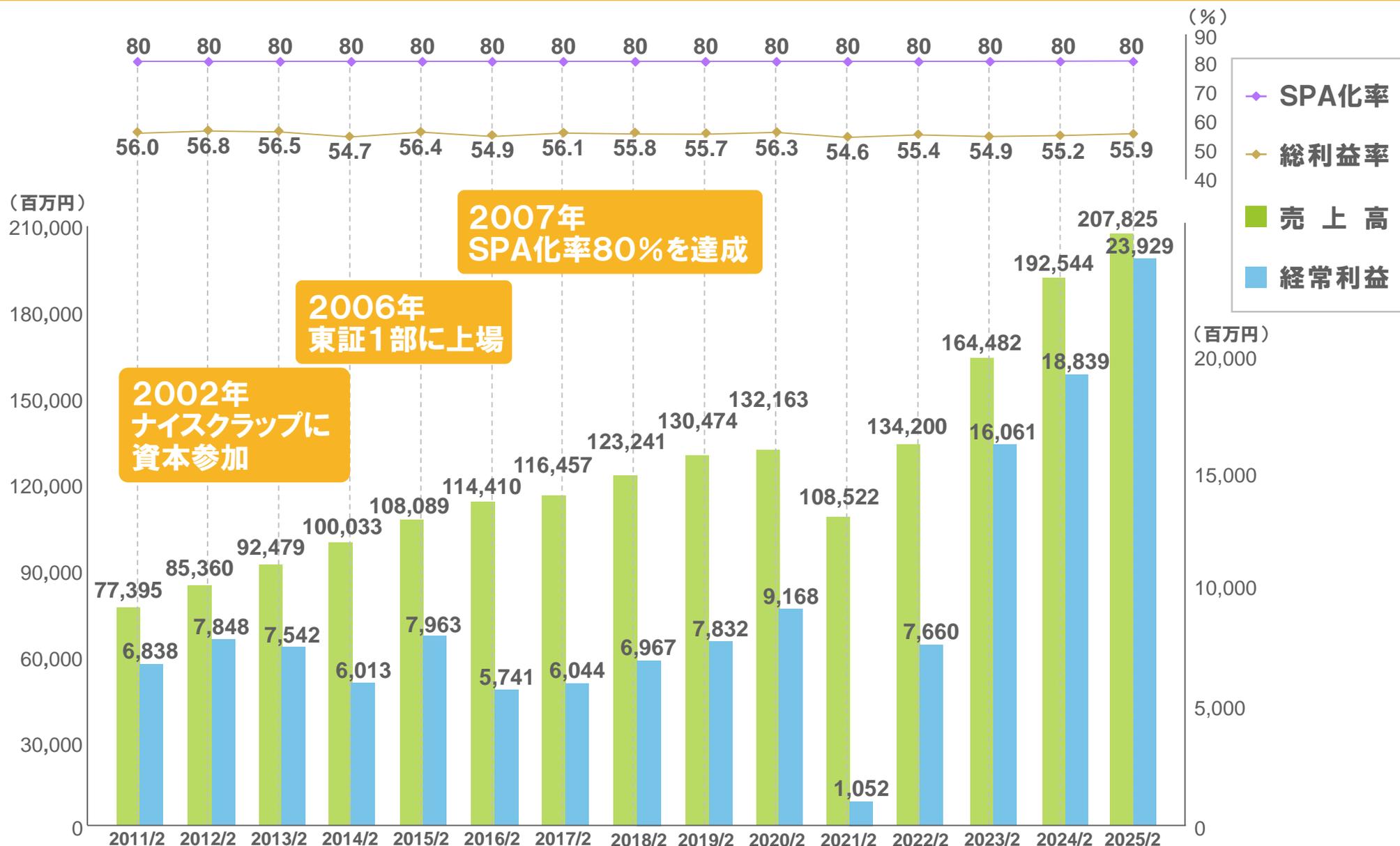
SMILE  
IS  
POWER.

# 経営ビジョン

業績推移  
中長期ビジョン

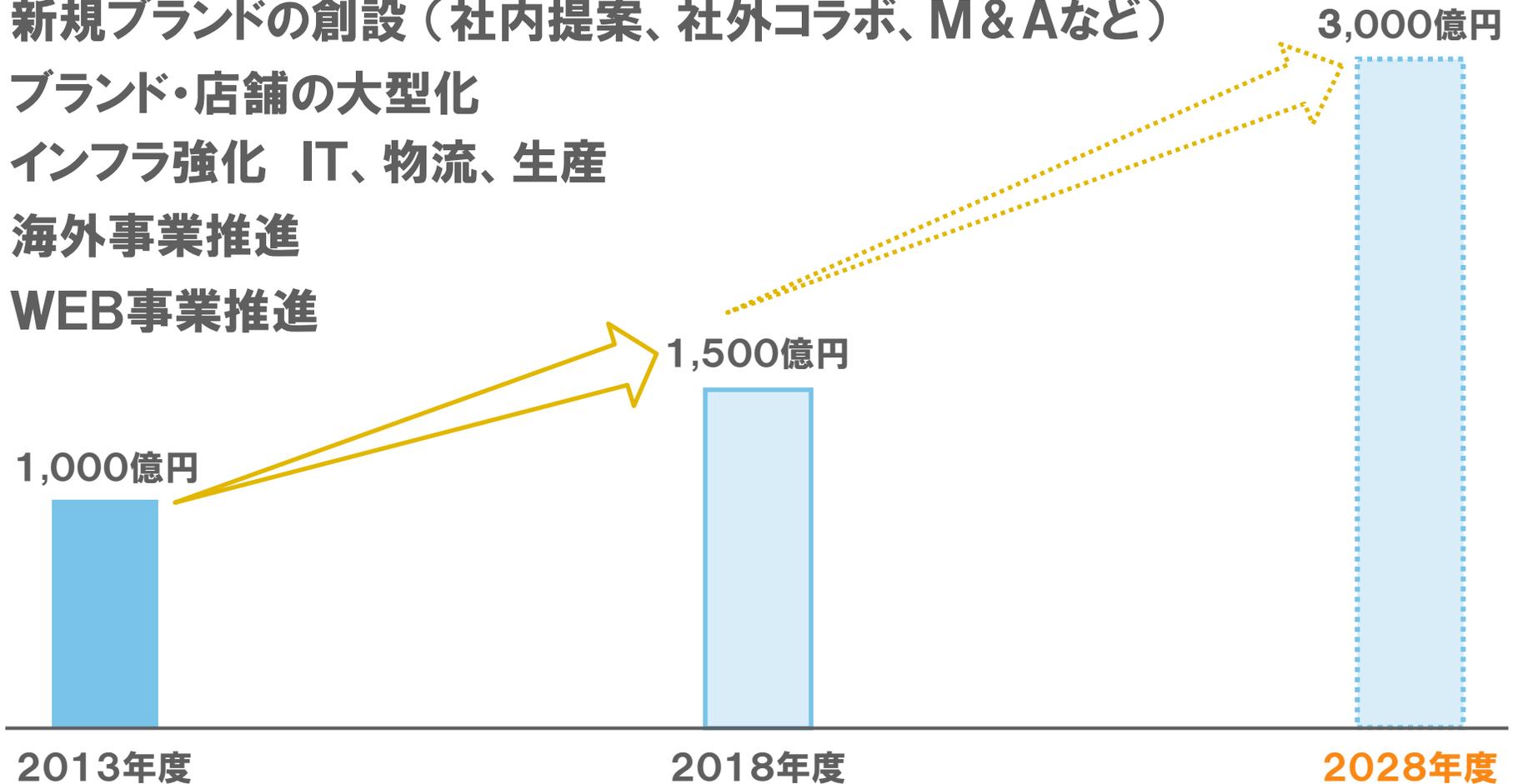


# 業績推移



## 事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・・・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- ブランド・店舗の大型化
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE  
IS  
POWER.

# トピックス

1. 創業者の退任と新経営体制への移行
2. MD改革の進捗状況
3. EC販売強化
  - ①. EC売上高の推移
  - ②. PALアプリ会員数の推移
4. サステナビリティへの取り組み
  - ①. サステナビリティレポート2025
  - ②. 地域創生への取り組み
5. 人的資本への積極投資（初任給引き上げ）
6. 株式会社ノーリーズの連結子会社化



# 1. 創業者の退任と新経営体制への移行

創業家の井上英隆相談役が退任し、渡辺隆代副会長と井上隆太社長が取締役に、児島副社長が代表取締役社長に就任する人事を公表しました。

2025年1月に、昨年代表取締役会長を退任した創業者井上英隆相談役が全役職を退任すること、創業家一族である渡辺副会長と井上隆太社長が取締役となること、パルグループホールディングスの児島副社長が代表取締役社長に昇格する人事を公表しました。



## 【児島社長略歴】

- 1983 (株)パル入社
- 1993 DISCOATブランド長
- 2001 第1・第5事業部長
- 2016 (株)バレリー取締役社長
- 2019 当社専務取締役  
営業副本部長
- 2024 当社取締役副社長  
管理本部長兼  
グループ業務推進本部長

## 【児島社長メッセージ】

企業の社会的な責任が問われる時代。SDGsやESGの取り組みが加速するなかで、「企業の社会的責任」と「ビジネスの持続可能性」の両立は、重要な経営課題となっています。

アパレル・雑貨小売業を営むパルグループは、環境問題や社会的課題が顕著な現代において、持続可能な未来を形作る一翼を担う責任があると考えています。パルグループの社是である「常に新しいファッションライフの提案を通して社会に貢献する」を原動力に、社員や株主、お客様、そして地域社会とともに持続可能な発展を目指して活動しています。

# 2. MD改革の進捗状況

## 具体的な施策

- 2013年  
第1段階

● **売れ筋商品のMDサイクル(8週間)での完成段階  
MD改革の断行を宣言**
- 2013年  
11月

● **環境の変化への大きな舵取りを断行へ  
温暖化の影響、ファストファッションの浸透・・・等々から**
- 2014年  
第2段階

● **売れ筋商品のMDサイクルを、一気に4週間の短サイクルへ**

● **円安を主要因とする非常に厳しいアパレル小売の環境下  
短サイクル化による、店頭鮮度の向上がプロパー消化率を押し上げ  
適正型数、在庫管理の徹底により、セール期での粗利低下を防止**
- 2015年  
2016年

● **4週間の短サイクルMDの完成**

● **期初から、全ブランドの4W発注を達成**
- 2016年

● **生産プラットフォームの強化**

● **春夏ものから生産集約を開始、グループの規模を生かした形で、  
秋冬ものから本格稼動し、質の向上とコスト削減へ**
- 2017年

● **トレンドベーシックな価格戦略商品の取込み**

● **従来の中間層が崩壊した市場に合わせた商品の投入/大型ブランド育成**
- 2017年

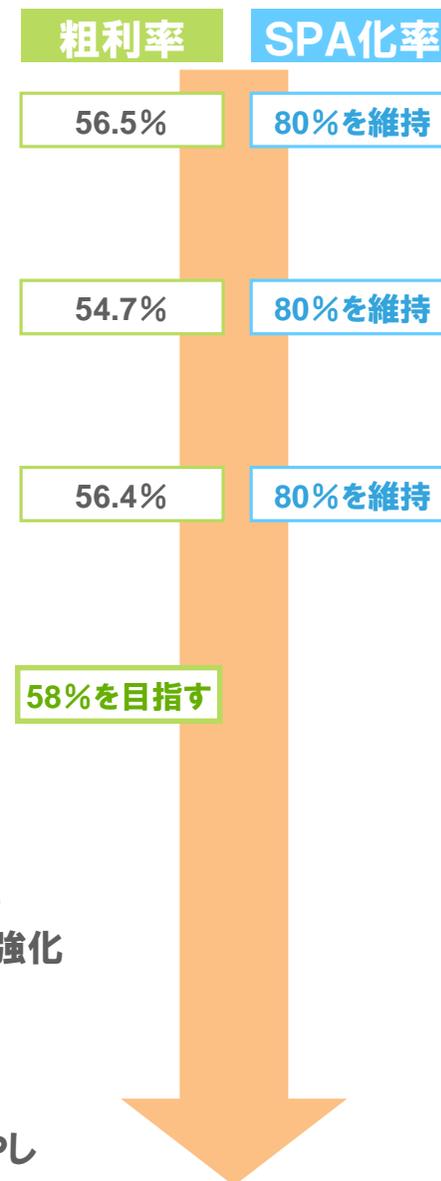
● **5つの施策の明確化**

● **①4週MDのさらなる徹底と推進 ②プロモーションのネット化(オムニチャネル)  
③ECの強化 ④生産プラットフォームの活用・強化 ⑤プラスワンカテゴリーの強化  
⑥シフトの効率化**
- 2021年

● **店舗の大型化と併せ『高感度ライフスタイル提案型の生活産業』へ**
- 2025年

● **『高付加価値創造企業』宣言**

● **お客様に真に価値ある商品とサービスを提供し続けるために、人的投資を増やし  
人の活躍・成長を促すことで企業の成長を加速させることを宣言。**



# 3-①. EC売上高の推移

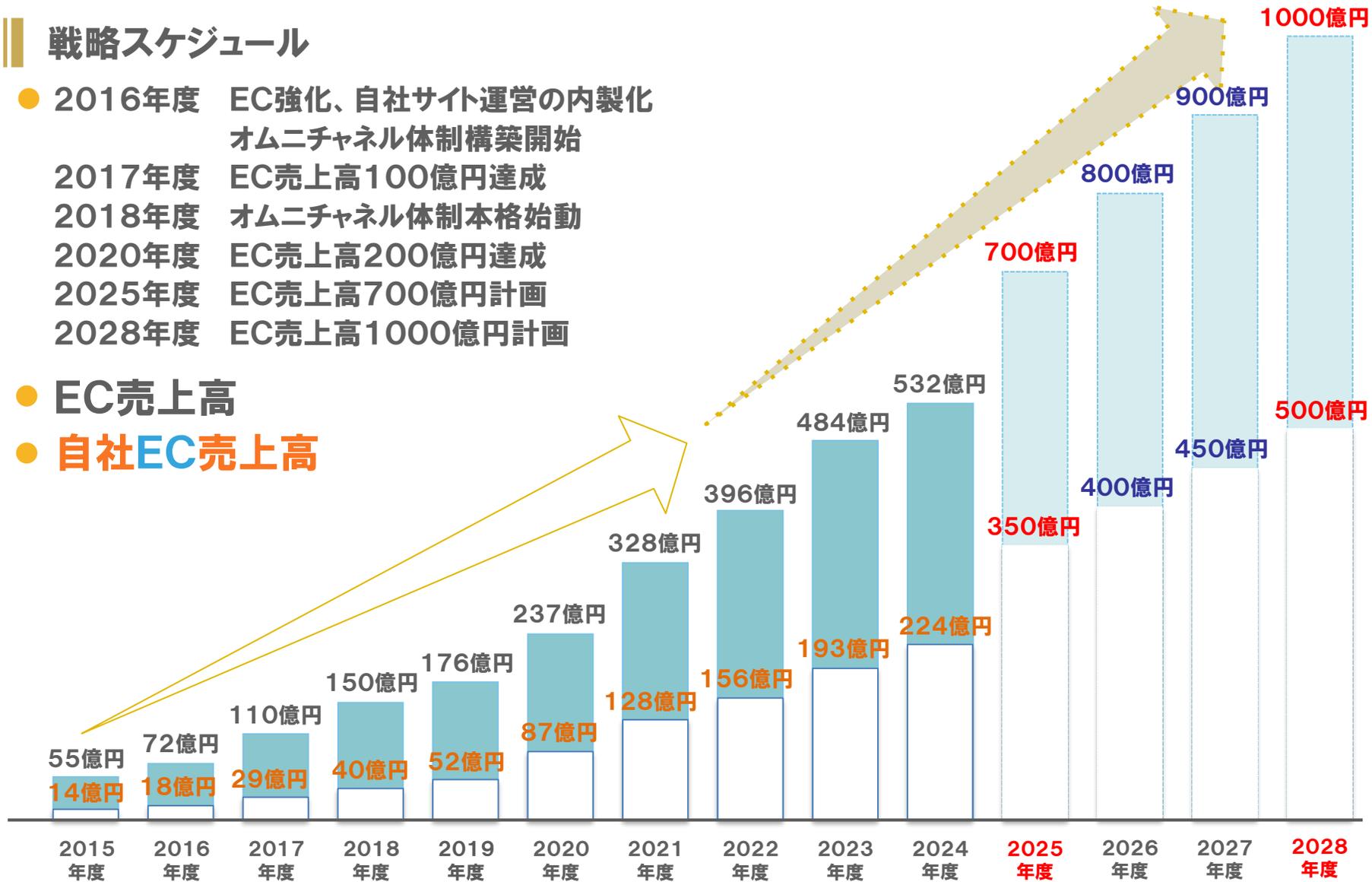
※2022年度より「収益認識に関する会計基準」数値適用

## 戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化  
オムニチャンネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャンネル体制本格始動
- 2020年度 EC売上高200億円達成
- 2025年度 EC売上高700億円計画
- 2028年度 EC売上高1000億円計画

## ● EC売上高

## ● 自社EC売上高



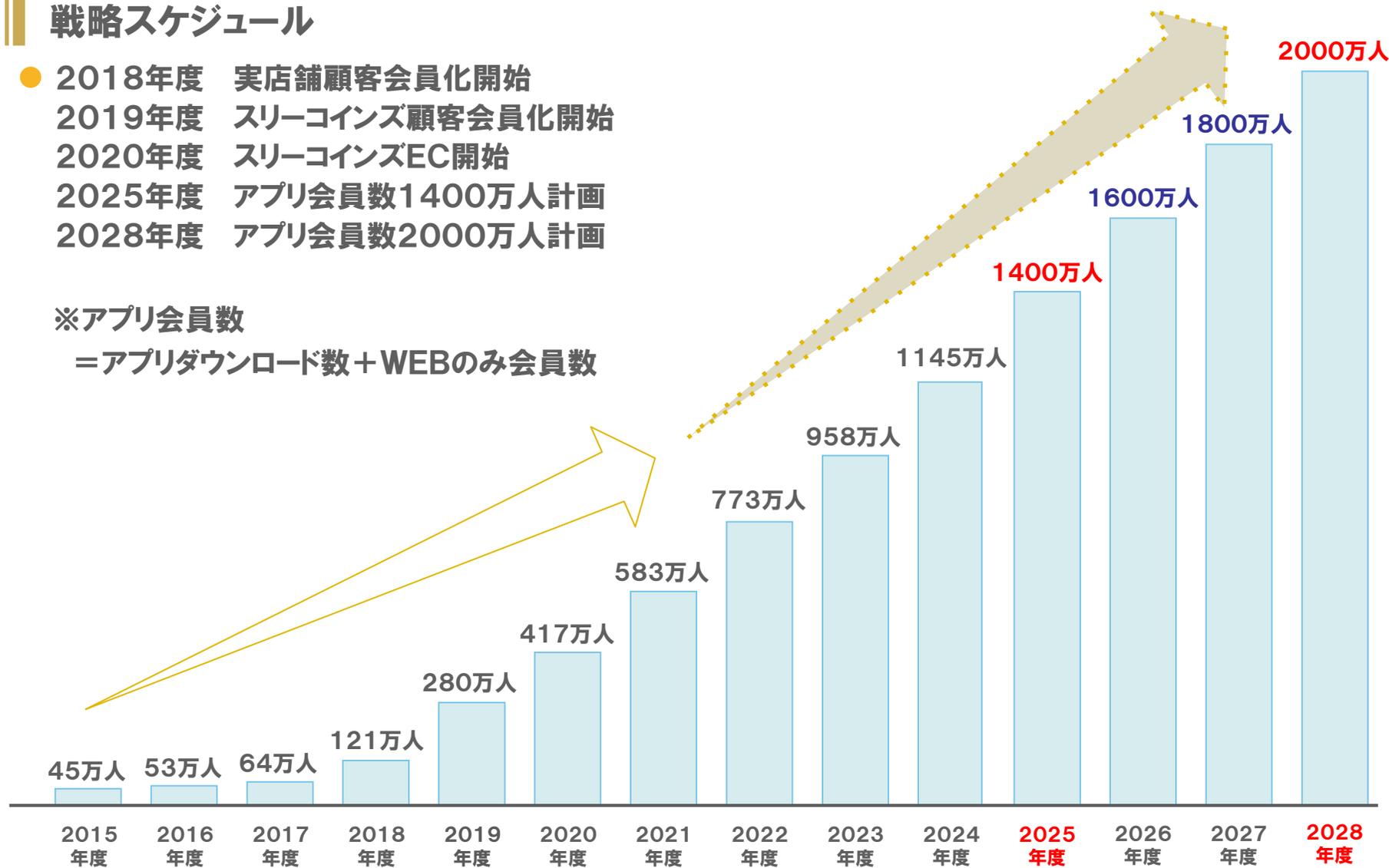
# 3-②. PALアプリ会員数の推移

## 戦略スケジュール

- 2018年度 実店舗顧客会員化開始
- 2019年度 スリーコインズ顧客会員化開始
- 2020年度 スリーコインズEC開始
- 2025年度 アプリ会員数1400万人計画
- 2028年度 アプリ会員数2000万人計画

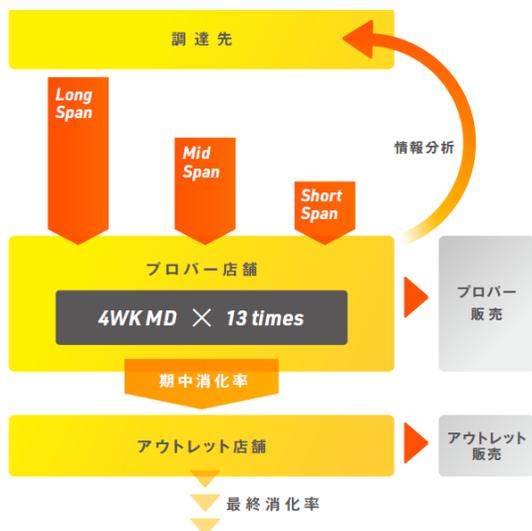
※アプリ会員数

=アプリダウンロード数+WEBのみ会員数



## 最終消化率を向上させるMD施策

パルグループでは商品の最終消化率の向上のために、早くから独自の短サイクルMDを構築してきました。調達のリードタイムを長期、中期、短期に分けて全体の納期を短縮し、1つのMDサイクルを4週間に短縮し、年間で13回展開します。これにより、販売予測の精度と最終消化率が向上します。こうした生産量の最適化により余剰在庫を削減し、最終処分する商品は年々減少しています。以上の施策によって、プロパー販売比率が上昇し、粗利益率の向上に寄与しています。



## CDPスコアの取得

パルグループは、2019年サステナビリティ委員会を立ち上げ、2020年よりサステナブルレポートの発行を開始。2024年2月期の有価証券報告書にてサステナビリティ情報の開示を開始しております。アパレルの事業は、気候変動の影響を強く受けるため、気候変動対策をサステナビリティにおける最重要課題として位置付け、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指しています。CDP質問書への回答を通じた情報開示は、金融機関や投資家等への適切な開示を行うだけでなく、パルグループが直面している環境リスクやビジネスチャンスを認識する機会であると捉えています。認識された課題への対応を通じて、気候変動に対応するガバナンス体制を強化し、パルグループの中長期的な競争力の向上につなげてまいります。

当社の2024年  
CDPスコア

**B**

2024年度CDP質問書には、世界の時価総額の66%以上を占める24,800社が回答。日本ではプライム上場企業の70%以上を含む、2,100社以上がCDPを通して情報を開示しました。

## 4-②. 地域創生への取り組み

### 「くろしお想」

和歌山県白浜町に2023年7月にリニューアルオープンしたお宿「くろしお想」。県内の伝統工芸や地場産業、食材等を「くろしお想」の世界観で厳選し、お客様へお伝えすることを目指してきました。

2024年4月には、地元の学生2名が新入社員としてスタッフの一員に加わり、地域の魅力発信を、地域の若者によって行っていく循環がはじまりました。

和歌山県庁から紹介を受けたインバウンド富裕層向けエージェントの視察も増加。「くろしお想」が海外のお客様にとってのデスティネーションホテルへと進化し、和歌山県に貢献できればと考えています。



### 「KITO forest market shimoichi」

奈良県吉野郡下市町に、2024年7月に開業した「KITO forest market shimoichi」は、廃校を利活用した衣食住遊働学健の複合型施設です。地元農産物のマルシェ、地元木工作家の展示販売ギャラリー、県外からの移住者が働けるレンタルオフィス。この他にも、「飲食店が少ない」、「本屋がないので子どもたちにもっと本を読ませたい」という地元の声をもとに誕生させたレストランカフェや登れる本棚を展開しています。

開業以来、数多くのお客様にご来場いただき、吉野地域の新たな地域活性化拠点として、今後も新たな取り組みを行ってまいります。



# 5. 人的資本への積極投資(初任給引き上げ)

## 2026年4月に入社する新入社員の初任給を30万円に引き上げます

パルグループの中核子会社である株式会社パルは、2026年4月入社の新入社員の初任給引き上げを公表いたしました。同時に、在籍している社員についても原則同幅のベースアップを行う予定です。

パルグループの経営理念は、「社員と株主みんなの幸せのための経営」です。

パルグループは、設立以来、人材を企業経営の最も重要な資本のひとつとして捉え、人材価値を最大限に引き出すための経営を行ってきました。また、経営目標として、「高付加価値経営」を掲げ、お客さまが我々の商品に付加価値を感じていただけるような商品を開発・販売することによって、企業価値を高めていくことを目指しています。パルグループは、人材こそが企業文化の独自性を育み、持続的な成長を担保する重要な要因であると考えています。

今後も、人的資本への投資は積極的に行ってまいります。

### 【新卒初任給】

	改定前	改定後	引き上げ額(率)
大学・大学院卒	234,000円	300,000円	66,000円(28%)
短大・専門学校卒	227,000円	293,000円(※)	66,000円(29%)

※短期大学・専門学校卒の方は、入社後22歳になった時点で¥300,000へ変更。(変更時期2月・8月)

※短期大学・専門学校卒の方でも、入社時点で22歳以上の方は、¥300,000とする。

## 6. 株式会社ノーリーズの連結子会社化

株式会社ノーリーズの20%の株式を追加取得し、連結子会社化しました。

2019年8月の株式会社ノーリーズとの資本業務提携開始により、パルグループが指標としている、パルマップにおけるブランドポートフォリオに不足していたソフトなドレスアップ系ブランド「NOLLEY'S」をグループ内に迎え入れました。

資本業務提携開始から5年が経過し、EC事業の一層の拡大等、企業価値向上のさらなるスピードアップを目指して、20%の株式を追加取得し、株式会社ノーリーズは、2024年12月1日よりパルグループの連結子会社となりました。

### NOLLEY'S



SMILE  
IS  
POWER.

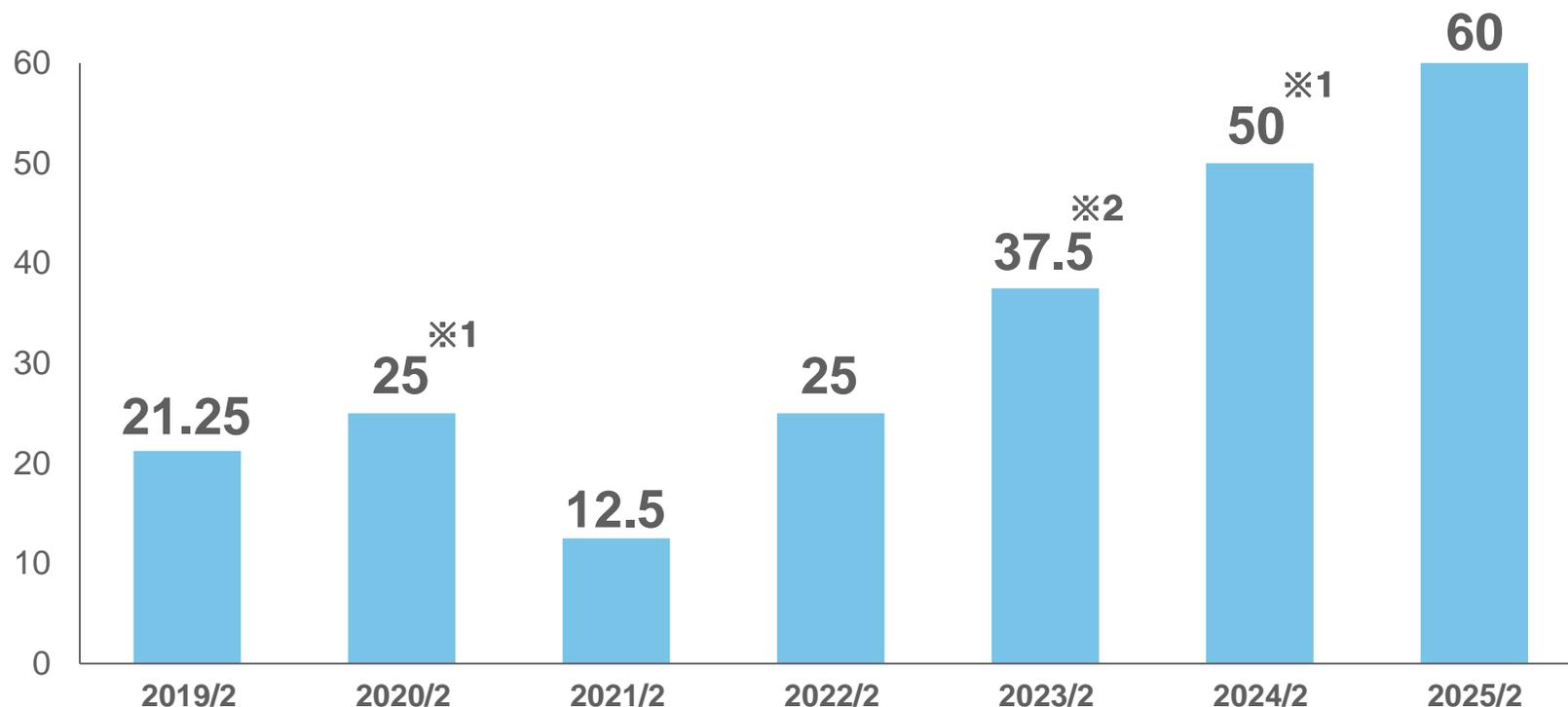


# 株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について

# 1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針としております
- 当期末の1株当たりの配当は60円といたします（前期比10円増配）



※1 2020年3月1日及び2023年9月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済です。上記1株当たり配当金は2024年2月を基準として算定しております。

※2 37.5円配当の内訳は、30円の普通配当と、7.5円の50周年記念配当です。

## 2. 株主優待制度について

### 株主優待制度で利用可能な宿泊施設が2024年10月より3か所になりました

「ASA VILLAGE」が施設の老朽化により2024年9月末をもって休業となりました。そのため、西日本における利用可能な宿泊施設は「くろしお想」のみとなっておりますが、提携宿泊施設の拡充を検討しており、株主優待は今後も充実させてまいります。

### 優待制度の内容

#### ● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

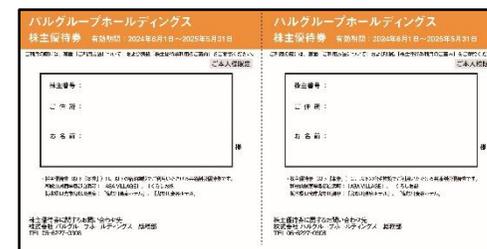
#### ● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の2つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ① 当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「くろしお想」での宿泊コース料金の50%を割引
- ② 金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」及び「鬼怒川金谷ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引

#### ● 優待券の付与枚数・・・前期から変更ありません

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE  
IS  
POWER.

# ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業（Environment）
- 3-①. 関西学院大学での寄附講座（Social）
- 3-②. パル井上財団での取組み（Social）
4. ジェンダー平等と働き方改革（Governance）



# 1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み(Environment Social Governance)は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



## 2. PALフォレスト事業（Environment）

### 「PALフォレスト事業」の取組み（Environment）

2011年より、「PALフォレスト植林事業」をスタート。以来13年間で400本以上の広葉樹を植林してまいりました。2020年～21年はコロナ禍のため中止となりましたが、2022年には再開し、現在に至っております。

2024年は、11月にパルとナイスクラブ、ザ・バック様が合同で活動実施。急な傾斜地に苦労しながらも、植林地の下草刈りを行いました。毎年多くの社員が参加し、地球環境維持の大切さを認識するとともに貴重な体験を共有しています。



# 3-①. 関西学院大学での寄附講座（Social）

## 関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み（Social）

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



### パル井上財団10周年記念共同事業としてSDG's体験プログラムを実施

#### 「SDG's体験プログラム」開催の意義

当社が属するファッション業界は、気候変動に代表される地球環境問題や人権問題等のSDG's(持続可能な開発目標)が重要な課題として認識されています。

パル井上財団設立10周年を迎え、ファッション業界を目指して学ぶ学生が直にSDG'sの課題と向き合う体験を通じて、人と自然との共存や、自然の恵みを豊かな生活に生かしていくことを学んでもらう機会を提供することを目的として開催いたしました。

#### プログラムの概要

350年以上の歴史を持つ紀州手漉き和紙「保田紙」を使ってうちわを制作し、インテリア等新たな用途も開拓されていることを学びました。

「くろしお想」では、料理や備品での地産地消の取組を学び、星空観察ツアーに参加し、自然の大切さや魅力を感じることが出来ました。

翌日は、林業が盛んな田辺市の森林を樹木医と歩き、森や木の状態を学ぶ木育研修を体験しました。さらに「ASA VILLAGE」の昼食では農福連携の農園で収穫された野菜を使った料理を食べる等、さまざまな視点からSDG'sの取組を見つめる貴重な機会となりました。



(上)「くろしお想」に宿泊し地産地消の取組を学びました。

(左)和紙「保田紙」を使ったうちわの制作体験

(下)星空観察ツアー



## 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成① (Social)

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約70名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む)に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』  
Webサイト  
トップページ



パル井上財団

## 3-②. パル井上財団での取組み（Social）

### 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校の流れ学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催しております。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプレイングを披露して頂いており、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会となっております。



## 4. ジェンダー平等と働き方改革（Governance） PAL GROUP HOLDINGS

### 徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』（Governance）

#### 『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	...	...	...	98
第二事業部	353	78	77	...	...	...	...	86
第三事業部	310	93	...	...	...	...	...	...
第四事業部	378	...	...	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...	...	...	...
第七事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第八事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第九事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
全社合計	382	82	66	61	...	...	...	85

#### 『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

## 社 是

「常に新しいファッションライフの  
提案を通して社会に貢献」

## グループ 経営理念

「社員と株主みんなの  
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪府中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	松尾 勇
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	1,078店舗

## 広報室

TEL 06-6227-0308  
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。